

令和5年度

病虫害発生予察情報

第3号

注意報第1号

北海道病虫害防除所 令和5年(2023年)5月15日

<http://www.agri.hro.or.jp/boujoshou/>

Tel:0123(89)2080・Fax:0123(89)2082

あぶらな科野菜のコナガが多飛来！ ほ場観察に努め防除開始時期に注意しよう！

長沼町、比布町、北斗市、芽室町及び訓子府町の予察ほ場において、4月6半旬から5月1半旬のフェロモントラップへのコナガ成虫の誘殺数はいずれの地点においてもかなり多く経過しています。また、5月10日発表の2週間気温予報によると5月14日から22日の気温は平年より高いと予報されています。これらのことから、本年のコナガ成虫の飛来数は多く、定植後のあぶらな科ほ場へ速やかに飛来して活発に産卵するものと予想されます。定植時に粒剤や灌注剤処理を実施するか、ほ場の観察に努め防除開始が遅れないように注意してください。

また、近年は薬剤抵抗性遺伝子を持つコナガの飛来により、従来コナガに対して高い防除効果を示していたジアミド剤の防除効果の低下事例も確認されています。そのため、防除に当たっては、異なる系統の薬剤によるローテーション防除を実施すると共に、防除を実施した後の効果確認に努め、防除効果が低いと判断された場合にはすみやかに他系統剤による防除を実施するなど、コナガの発生動向に対応した防除を行ってください。

1. 発生地域 全道

2. 発生期 既発

3. 発生量 多

4. 注意報発令の根拠

- 1) 予察ほ場におけるフェロモントラップによるコナガ成虫の誘殺数は、いずれの地点においても平年より多い。(表1)
- 2) 札幌管区気象台より5月10日発表の2週間気温予報によると5月14日から22日の気温は平年より高いと予報されている。

5. 防除対策

- 1) 定植時に粒剤や灌注剤処理を実施する。定植時処理を行わない場合は、ほ場の観察に努め防除開始が遅れないよう注意する。
- 2) 茎葉散布薬剤については表2を参考に、残効日数を考慮して異なる系統によるローテーション防除を実施する。
- 3) ジアミド剤抵抗性発達を予防するため、本系統を含む薬剤を5月に使用した場合は45日間、6月の場合は30日間、本系統の薬剤を使用しない。薬剤防除実施後には適宜防除効果を確認し、コナガ幼虫の寄生が目立つ場合にはすみやかに他系統薬剤による防除を実施する。(令和5年指導参考事項「ジアミド系薬剤感受性低下個体群に対応したキャベツにおけるコナガの防除対策」、URL <https://www.hro.or.jp/list/agricultural/center/kenkyuseika/gaiyosho/r5/f2/20.pdf>)

表1. フェロモントラップによるコナガ成虫の誘殺頭数

月・半旬	長沼町		比布町		北斗市		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4月1半旬	0	0.8	0	-	5	3.7	0	-	0	-
2半旬	0	0.3	1	1.0	4	4.0	1	0.3	0	-
3半旬	6	0.7	5	3.5	15	5.3	4	0.6	0	0.2
4半旬	2	1.0	1	2.9	8	7.2	4	0.7	0	0.7
5半旬	2	0.8	7	6.0	10	7.6	0	1.9	0	0.2
6半旬	5	2.0	74	10.1	43	9.0	3	1.4	1	0.6
5月1半旬	39	1.8	35	37.3	71	12.7	17	4.3	16	0.9

注) 設置場所はあぶらな科野菜ほ場。ただし芽室町はあぶらな科野菜以外のほ場近辺、訓子府町は雑草地

表2. 残効性を考慮した茎葉散布剤の薬剤グループと使用方法 (キャベツでの例)

グループ	薬剤名	系統(IRACコード)	残効(日)
A	スピネトラム水和剤 F	スピノシン(5)	14
	スピノサド水和剤 DF		14
	BT 水和剤 DF(クルスターキ+アイザワイ)	BT(11A)	7~14
	フルキサメタミド乳剤	メタジアミド及びビソオキサリリン(30)	14
	プロフラニリド水和剤 F		14
B	ピリダリル水和剤 F	UN	7~14
	トルフェンピラド乳剤	METI(21A)	7~14
	フルベンジアミド水和剤 DF	ジアミド(28)	7~14
	クロラントラニプロール水和剤 F		14
	シアントラニプロール水和剤 F		7~14
	フルフェノクスロン乳剤	ベンゾイル尿素(15)	7~14
C	フロメキン水和剤 F	フロメキン(34)	7
	BT 水和剤 DF(クルスターキ系)	BT(11A)	7
	BT 水和剤 DF(アイザワイ系)	BT(11A)	7
	メタフルミゾン水和剤 F	セミカルバゾン(22B)	7
	トルフェンピラド・メタフルミゾン水和剤 F	METI・セミカルバゾン(21A・22B)	7

注1) グループA: ローテーションの基幹として使用する。

グループB、C: ローテーションの補助として使用する。

注2) 表中の薬剤はキャベツでの登録を示す。上記を参考に各作物の農業登録を確認して薬剤を選択する。